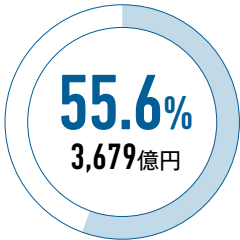
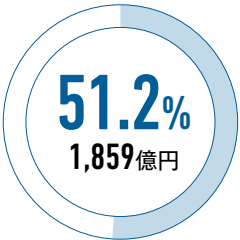
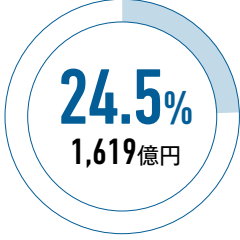
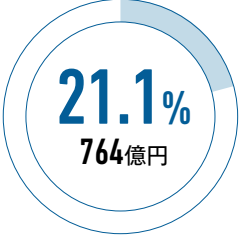
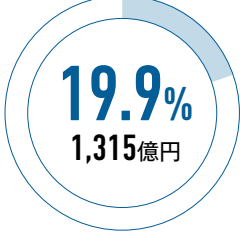
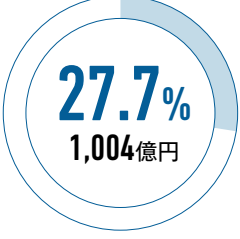


■ 事業別情報

事業		売上高比率(2018年度)	営業利益比率(2018年度)	製品	
アルミ 圧延品 事業	■ 板事業 ■ 押出事業 ■ 箔事業 ■ 鋳鍛事業	68.5% 5,307億円	77.8% 170億円	自動車用パネル材	缶材・クロージャー材
				LNGタンク材	自動車用熱交換器材・配管材
				ターボチャージャ用 コンプレッサホイール	リチウムイオン 二次電池集電体用箔
伸銅品 事業	■ 銅管事業	6.1% 475億円	8.0% 17億円	エアコン用内面溝付 銅管	各種熱交換器
				給水・給湯配管	建築用配管
加工品・ 関連 事業	■ 加工品 事業	25.4% 1,971億円	14.2% 31億円	バンパーアセンブリー	パラボラアンテナ
				ハニカムパネル	大型アルミニウム製 タンク

注：売上高は内部売上高または振替高を含みます。営業利益はセグメント間の調整前のものです。

■ エリア別情報

エリア	主要拠点	売上高比率(2018年度)	有形固定資産(2019年3月31日)
 日本	■ 名古屋製造所 ■ 福井製造所 ■ 深谷製造所 ■ 日光製造所	 55.6% 3,679億円	 51.2% 1,859億円
 アメリカ	■ Tri-Arrows Aluminum Inc. ■ Logan Aluminum Inc. ■ Constellium-UACJ ABS LLC ■ UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.	 24.5% 1,619億円	 21.1% 764億円
 タイ・その他	■ UACJ (Thailand) Co., Ltd.	 19.9% 1,315億円	 27.7% 1,004億円

■ アルミ圧延品の製品構成比と主な販売先

製品用途	2018年度売上数量		主な販売先	主な完成品メーカー
	(単位:千トン)	(構成比)		
缶材	666	60.9%	製缶メーカー	飲料・食品メーカー
箔地	50	4.6%	製箔メーカー	医薬品・食品・電池メーカー
IT材	15	1.4%	電子部品メーカー	IT機器メーカー
自動車材	147	13.4%	自動車・部品メーカー	自動車メーカー
厚板	40	3.7%	金属商社 造船メーカー	液晶・半導体製造装置メーカー 造船メーカー
その他一般材	177	16.2%	建材メーカー・金属商社	大手ゼネコン
合計	1,094	100%		
国内市場向け	504	46.1%		
海外市場向け	590	53.9%		



生産性効率の向上を追求し、旺盛な缶材需要に対応する

2018年度の概況

北米の缶材需要は引き続き堅調に推移していますが、自動車の軽量化ニーズに対応してアルミニウムメーカーが自動車材へと生産をシフトさせた影響もあり、非常にタイトな需給状況となっています。さらに、米国通商拡大法232条の発動にともない中国からの缶材輸入が減少したことも、需給逼迫に拍車を掛けています。こうした状況のもと、TAA*1は年間を通じてフル生

産を続け、旺盛な需要に対応しました。その結果、2018年度の売上高は1,619億円(前年度比20.4%増)となりました。

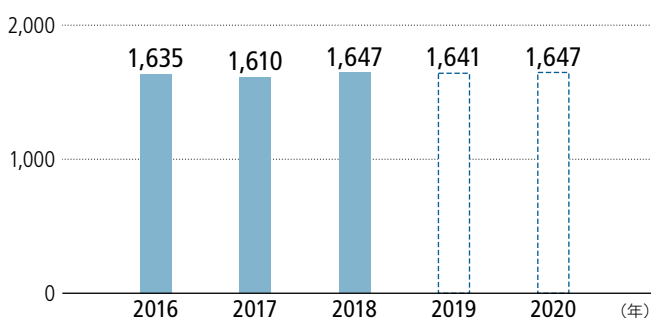
また、本格的な事業化が遅れていたCUA*2での合併事業の解消や、TAAに増設したスクラップ・リサイクル炉の稼働によるコスト低減効果などで、損益面も大きく改善しました。

※1 Tri-Arrows Aluminum Inc.

※2 Constellium-UACJ ABS LLC

缶材需要(米国)の推移と予測

単位:千t

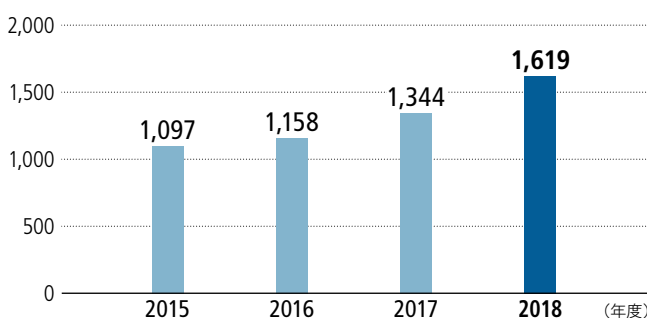


出典: CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook May 2018

世界最大の缶材消費国である米国では、今後も安定的に需要が推移する見込みです。

売上高(北米)の推移

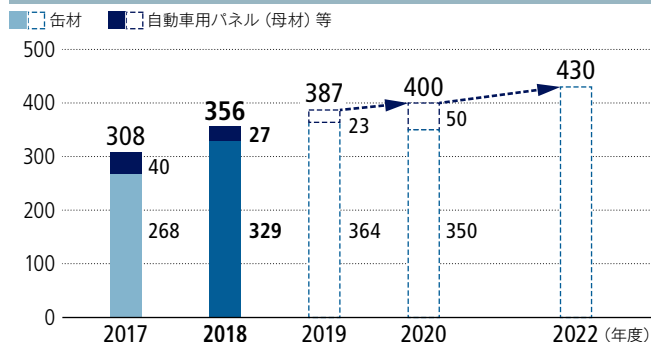
単位:億円



これまで合併会社の立ち上げやM&Aによって売上を拡大してきましたが、今後は生産効率の向上によって、旺盛な需要に対応し、売上成長を図っていきます。

TAAの年間販売量の推移と予測

単位:千t



増強工事中の冷間圧延ラインが2019年9月に完成し、生産能力が現在の約35%増となる年間43万トンに向上します。この生産能力を活かして、年間販売数量を40万トン超に拡大させていく計画です。



TAAのローガン工場において、増強させたスクラップ・リサイクル炉。2018年12月からフル稼働が続き、コスト低減に貢献しています。冷間圧延設備の立ち上げ後は、生産性も向上します。

市場動向を踏まえた施策

好調な北米の缶材需要を取り込む体制を構築

TAAは、アルミニウム缶材市場の成長を事業規模拡大へとつなげる体制が整っています。事業環境である米国の飲料缶市場は世界最大であり、需要は底堅く推移しています。加えて、環境志向という消費動向の変化が、さらなる市場拡大を牽引すると期待しています。最近の廃プラスチック問題なども相まって、消費者の環境への意識が高まっており、すでに多くの州でプラスチックの使用削減を目指す法案が制定されています。こうしたことから今後は、クラフトビールブランドやエナジードリンクなどの製品の容器が、プラスチック製からアルミニウム製にますます切り替わっていくというのが当社の見解です。また、このような好調な市場環境がありながら、多くの競合会社が自動車用アルミニウム部材の分

野に注力し始めています。そのため、需要を獲得しやすい市場環境にもなってきています。

こうした市場環境を確実に捉えるために、TAAは過去3年間にわたり、4億2,500万ドル以上の設備投資を行い、生産能力の拡大に努めてきました。鋳造、熱間圧延、仕上まで、あらゆる工程の設備投資です。これらの設備投資は、スケジュール・予算通りに進んでおり、2019年9月には全拡張工事が完了します。この設備増強によって、生産能力は現状の約35%増となる年間43万トンに、そして収益性が50%上がる見通しです。また、長期的な品質向上・価格低減も実現していきます。

今後の見通し

さらなる成長に向けて、ポートフォリオの多様化も視野に

TAAは、中期経営計画1年目の目標を上回る業績に一同喜びと同時に、2年目も事業計画が順調に進み、目標を達成する見込みです。TAAは、お客様、サプライヤー、従業員、株主といったステークホルダーに価値を提供することを使命としています。今後もアルミニウム缶材の製造・販売を主体に、TAAが持つ専門知識や人材を活かして事業成長を図り、北米市場においてトップクラスのアルミニウムメーカーとしての地位を維持していきます。

また、この3年間での設備投資は、高まる缶材需要に応えることはもちろん、自動車パネル材に適した原板の生産を可能にします。今後は、製品ポートフォリオを多様化する戦略も視野に入れながら、市場を見極めていきます。そして、その機が訪れた際には、TAAのローガン工場が誇る世界最高水準の生産能力を活かして、高品質な製品と価値を提供し、さらなる成長を図っていきます。

Henry Gordinier
President and CEO
Tri-Arrows Aluminum Inc.





第3期工事の完了と品種構成の最適化によって UATHの営業黒字体質の確立を目指す

市場環境と事業機会

東南アジア地域では、経済成長とともにアルミニウムの需要が増大しています。例えば、ビールや清涼飲料の消費拡大によって缶材の需要が拡大しているほか、住宅や自動車の普及とともにエアコン向けの熱交換器材の需要が拡大しています。

UATH※ラヨン製造所は、東南アジアから中東にかけてのエリアにおいて、大型のアルミニウム圧延設備を持つ唯一の工場として、生産性を活かせるアドバンテージを確立しています。

※ UACJ (Thailand) Co., Ltd.

2018年度の概況

東南アジア地域を中心に缶材需要は堅調に推移しました。UATHラヨン製造所では、一過性の設備故障はあったものの、第3期工事が順調に進捗し、一部設備の稼働開始によって、年間販売量が当初計画の15万トンに達しました。その結果、2018年度の売上高は1,315億円（前年度比7.3%増）となりました。

また2018年度は、契約が満了した韓国のCHOIL社との業務提携を解消した一方、今後の成長が見込める中国自動車材需要の獲得に向けて、電池箔生産設備などの新設・増設を決定したほか、CITICグループとの提携を進めました。

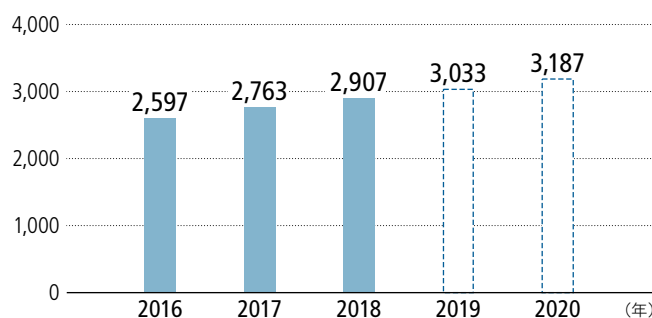
今後の見通し

旺盛な缶材需要を背景に、東南アジアでは、今後もタイトな需給環境が続くと予想されます。UATHラヨン製造所の第3期工事は2019年度中に完了する予定です。設備の本格稼働によって、2019年度の年間販売量は20万トンに達する見込みです。

また、需要が高まるエアコンフィンの本格販売を開始するなど、品種構成の最適化によって収益力を高め、2019年度中に営業利益の黒字化、2020年度中に経常利益の黒字化を目指します。

缶材需要（タイ・その他）の推移と予測

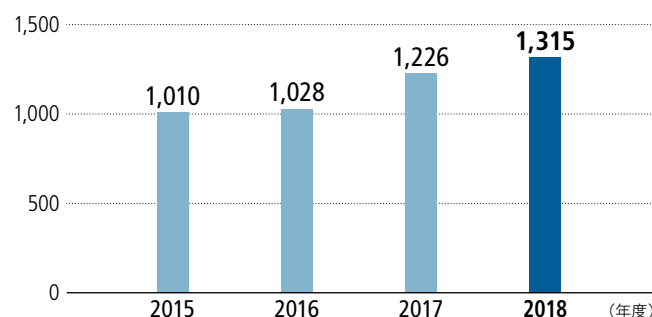
単位:千t



出典: CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook May 2018

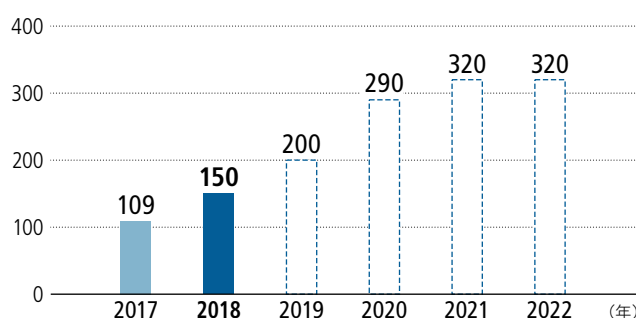
売上高（タイ・その他）の推移

単位:億円



UATHの年間販売量の推移と予測

単位:千t





構造改革による収益改善を急ぐとともに 自動車材事業を柱に持続的成長を目指す

市場環境と事業機会

主要製造拠点の名古屋製造所と福井製造所は、世界トップクラスの生産設備を有し、その高い生産能力は国内市場における競争力の源泉となっています。UACJの誕生以来、アルミニウム圧延品の国内シェア50%以上を堅持しており、業界における圧倒的なトップポジションを確立しています。

日本市場は、人口減少の影響で主力商材である缶材需要が減少傾向にありますが、自動車の燃費規制強化や電動化にともない、車体軽量化に貢献するアルミニウム材の需要が近年増大しています。

2018年度の概況

主力の缶材は、ビール系飲料の需要減やPET飲料の伸長といった市場環境の変化に加え、自然災害の影響もあり、厳しい状況が続きました。さらに、収益を牽引してきたIT材や液晶・半導体製造装置用の厚板も、中国経済の減速により、売上数量が大幅に減少しました。このように厳しい環境下にあったものの、自動車材の底堅い需要や地金価格の上昇などに起因し、2018年度の売上高は3,679億円（前年度比0.2%増）となりました。

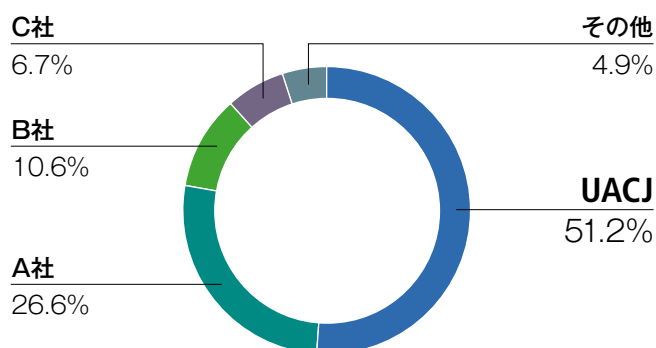
なお、事業の選択と集中を進め、成長分野の自動車材事業により多くの資源を投入するため、土木・建築資材メーカーの住軽日軽エンジニアリングの株式譲渡を実施しました。

今後の見通し

市場の縮小傾向が続く国内事業での収益力向上を図るため、生産体制の再編を含めた構造改革を実施する計画です。

ただし、自動車材市場については中長期的な需要増大が見込めるため、福井製造所内に自動車パネル材の熱処理ラインを新設しており、2019年度中に稼働を開始する予定です。増強した生産能力を活かし、今後は自動車材を事業の柱として持続的な成長を目指します。

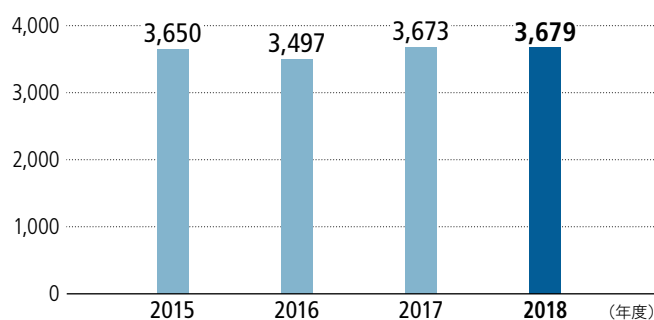
アルミニウム圧延品国内生産量の比率（2018年度）



出典：カロス出版『アルトピア』2019年9月号

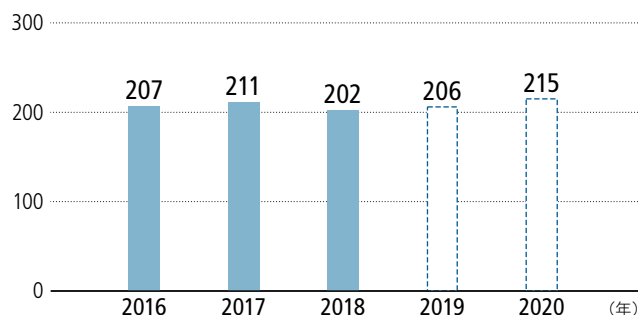
売上高（日本）の推移

単位：億円



輸送*向けアルミニウム板需要（日本）の予測

単位：千t



※自動車・航空機・船舶などの総称

出典：CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook May 2018 等に基づく推定値